

長崎県の“土木”のいまがわかります

NO. 35

DOVOC 通信 ながさき特集
1

土木部の予算

特集
2長崎港ベイエリアの活性化
～みなとオアシスの登録～「明治維新150年 長崎県土木の近代化への始動
第1回 近代都市建設へ向けて」

DOVOC インフォメーション



みなさまのご協力により
完成いたしました。
ありがとうございました。



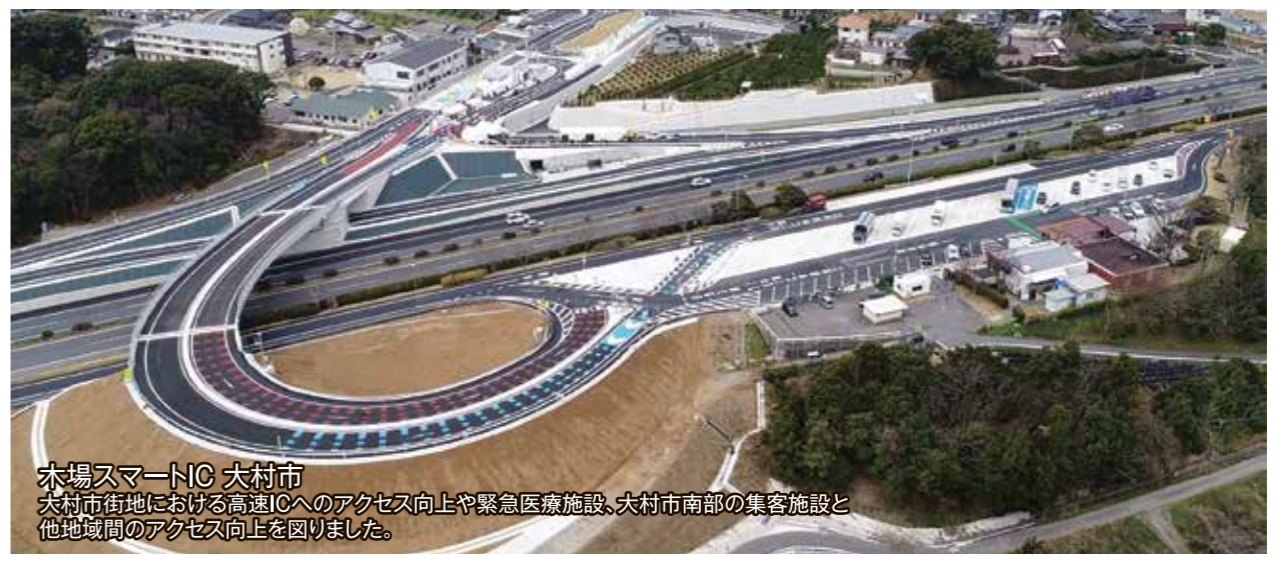
一般国道251号(吾妻愛野バイパス)雲仙市
本工区の整備により、愛野森山バイパスと広域農道が直接つながることで、島原～諫早を結ぶ交通アクセスが大幅に改善されました。



主要地方道諫早外環状線
(諫早インター工区:栗面IC～小船越IC間)諫早市
本区間の整備により、諫早市内の国道の慢性的な交通渋滞を緩和し、円滑な交通の確保を図りました。



一般国道384号(三日ノ浦バイパス)新上五島町
新上五島町の幹線道路であるが、幅員狭小、線形不良であったため、バイパス整備により、安全な通行の確保と走行性向上を図りました。



木場スマートIC 大村市
大村市街地における高速ICへのアクセス向上や緊急医療施設、大村市南部の集客施設と他地域間のアクセス向上を図りました。

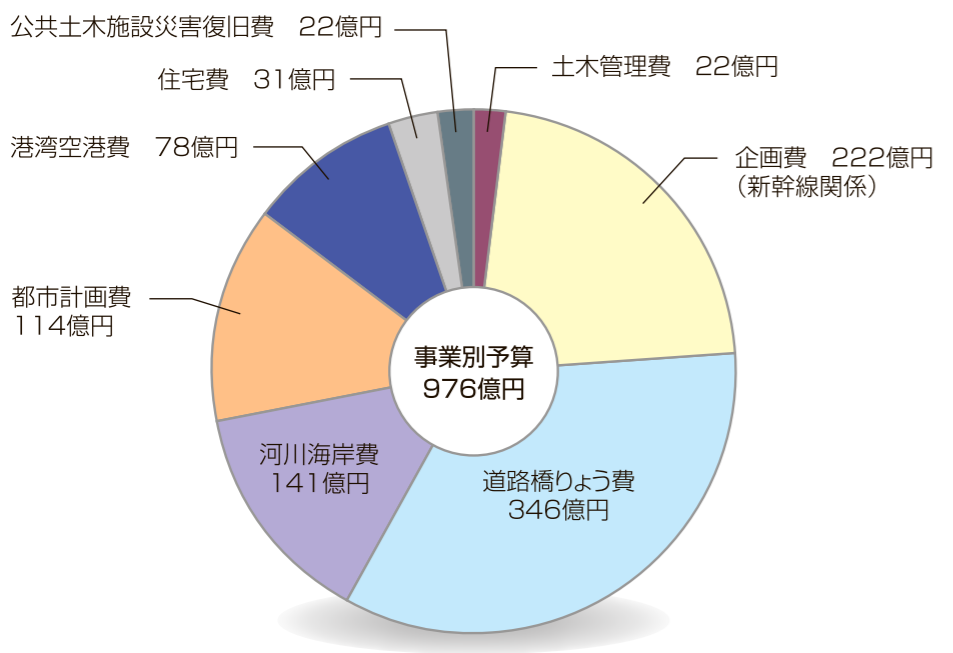


調川港浮棧橋 松浦市
西日本有数の大中型まき網船の水揚げ基地となっている調川港において、松浦魚市の再編に併せ地域の基幹産業となっている水産業を下支えするため浮棧橋を整備しました。

◎平成30年度予算の 使いみちと財源



土木部の平成30年度の予算は976億円。
これからも、県民のみなさんの快適で安全な暮らしを支えるための事業を行ってまいります。



◎主な事業箇所



道路・街路

- 【継続】JR長崎本線連続立体交差(長崎市)
- 【継続】池田沖田線(大村市)
- 【継続】島原道路(島原市・雲仙市・諫早市)
- 【継続】西彼杵道路(時津町)
- 【継続】一般国道303号橋梁補修事業平戸大橋(平戸市)
- 【継続】一般県道佐世保世知原線(板山工区)(佐世保市)
- 【継続】主要地方道長崎南環状線新戸町～江川町工区(長崎市)
- 【新規】一般国道384号(白魚バイパス)(新上五島町)
- 【新規】一般国道302号(美止々～佐護バイパス)(対馬市)

港湾

- 【継続】厳原港(対馬市)
- 【継続】口ノ津港(南島原市)
- 【継続】調川港(松浦市)

河川・砂防

- 【継続】江ノ浦川(諫早市)
- 【継続】猪子平川砂防(時津町)
- 【継続】立岩地区地すべり(松浦市)
- 【継続】田中(2)地区急傾斜(長崎市)
- 【継続】立岩川砂防(長崎市)
- 【新規】継子川砂防(新上五島町)
- 【新規】大園(4)地区急傾斜(長崎市)

住宅

- 【継続】深堀団地(長崎市)
- 【継続】花高団地(佐世保市)

新しい取り組み



建設企業のアジア展開のための啓発・戦略策定支援事業を実施します。
(平成30年度新規)

国内市場の縮小、担い手不足などの課題を抱える建設業界において、伸張が著しいアジアの建設市場へ開拓参入し、外貨と人材の確保を目指す意欲の高い建設企業を掘り起こすとともに、助成金により支援することで県内建設企業の持続的発展を促進します。

1 啓発事業

- ①アジア展開啓発セミナーの開催
(長崎、佐世保)
- ②アジア展開支援産・学・官検討協議会の立上げ

2 助成金による助成支援事業

- ①アジア展開のための事業化可能性現地調査実施費用の助成
(助成率1/2)
- ②政府系公的支援への募集申請費用の助成(助成率1/2)
- ③雇用人材スキルアップ費用の助成
(助成率1/2)

【問い合わせ先】

長崎県土木部監理課建設業指導班
Tel 095(894)3015

長崎港の改修と都市交通の近代化



完成直後の中島川変流工事、中島川河口から見た写真。出島の先端に導流堤が見える。河口から最初の橋が新川口橋（鉄橋、明治23年（1890）架設）、次の橋が出島新橋（木鉄混交橋、明治22年（1889）架設）（長崎歴史文化博物館所蔵）



中島川変流工事の設計図。石黒五十二・内務省が作成。新地蔵に向けて直進していた中島川を、出島の背後（現在の状態）に変流した。（長崎歴史文化博物館所蔵）

明治維新当時、長崎港は日本で最大の海外貿易港であった。明治初期には港の管理がされず、中島川の河口部に土砂が堆積して港湾機能に支障を来していた。この対策のために、長崎県は明治15年（1882）からデ・レーケ*の指導を受け、植林、砂防、護岸の改修などを行い、中島川を出島外側（海側）に延長することが提案された。しかし、石黒五十二と内務省はこの計画を変更し、明治18年（1885）から明治22年（1889）に出島の背後に中島川を変流する中島川変流工事を行った。長崎港改良工事は、明治政府が野蒜港（宮城県、坂井港（福井県））に次いで行った日本で三番目の港湾工事であった。長崎港では、浚渫土砂で沿岸部に道路を建設し、写真のように河川の河口に近代的な橋梁が建設され、長崎港沿岸部は急激に近代化された。中島川の河口に架設された新川口橋（明治23年架設）は、アメリカから輸入された日本でも早い時期の鉄製橋梁であった。
*お雇い外国人（オランダ人）



長久橋（ブラットラス形式、木鉄混交橋、明治22年（1889）架設）（個人蔵）



出島新橋（ブラットラス形式、木鉄混交橋、明治21年（1888）架設）（活水学院所蔵）

岡林隆敏 長崎大学名誉教授

専門は土木工学（橋梁振動工学、維持管理工学）、土木史（近代化遺産、構造物修復）
長崎県文化財保護審議会委員、長崎県・市町長寿命化修繕計画委員会委員長
歴史的土木産業構造物調査、文化財指定、文化財の修復を行っている。針尾無線送信所、長崎市本河内水道、中島川護岸改修、西海橋などがある。

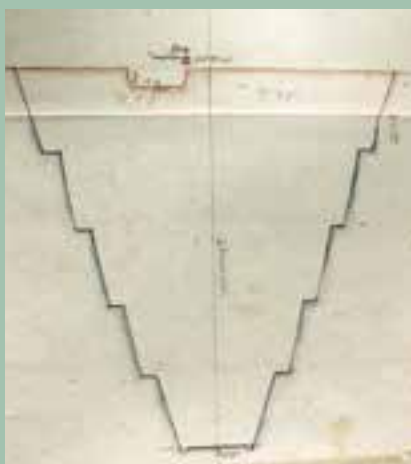


松ヶ枝橋（ポストリングトラス形式、木鉄混交橋、明治22年（1889）架設）（個人蔵）

近代的道路の建設



日見切通し（長崎側5.9km、日見側4.8kmの中間にあった）、道路の計画は日見新道会社であったので、開通当時、通行料を徴収した。（長崎大学附属図書館所蔵）



日見峠切通しの断面図
長さ770尺（233m）、高さ17尺（30.1m）、幅員3間（5.4m）（長崎歴史文化博物館所蔵）

土木の近代化で最初に着手されたのは、道路の改修と近代港湾の建設であった。外国人居留地が建設された長崎（区・市）は三方山に囲まれ、荷車や人力車によって他の都市と行き来するには、江戸時代の道路を改修し、峠を開削して平滑な幅員の広い道路にする必要があり、長崎街道の改修が始まった。日見新道会社が創立され、途中に日見峠切通が開削、明治15年（1882）8月に日見新道の落成式が行われた。この工事が、長崎県における最初の大規模な道路工事であった。日見新道は切通しを通過すると、写真のような急峻な屈曲を通り海岸部の矢上まで下る。明治20年（1887）には、長崎・茂木間の道路が新設され、途中に大規模な田上の切通が建設された。長崎から時津、野母への新道、さらに長崎県



長崎から雲仙・島原・天草・熊本に行くために、茂木港は重要であった。茂木新道の途中にある大規模な田上切通し。（個人蔵）



36曲りの急斜面を下る日見新道（大正時代の写真）（個人蔵）

第1回

近代都市建設へ 向けて

明治維新は、江戸時代の社会基盤を近代化する大転換点であった。明治維新後の日本は、西欧列強から侵略されないために社会基盤の近代化を進め、国力を充実させる必要があった。道路、鉄道、港湾、水道、通信などあらゆる土木分野の工事が全国で二斉に始まった。現在の繁栄した国土は、この時代の遺産の上に築かれている。長崎県では、全国に先駆けて土木の先達が多く、この時代の遺産を乗り越えて近代的な土木構造物を建設してきた。県内の明治初期の土木構造物を紹介しよう。

目的

ベイエリアを拠点とした賑わい空間を創出し、地域の活性化に寄与する

運営

シンクながさき、長崎商工会議所、構成施設管理者、周辺商業施設運営者

構成施設

県有9施設(水辺の森公園等)、市有1施設、民間2施設(出島ワフ、ゆめタウン夢彩都)

活動内容

- ◎賑わい空間を創出する共同イベントの開催
- ◎住民が主体となったクルーズ客との交流イベント等の企画
- ◎ベイエリアでの統一したキャラクターやグッズ等の開発

メリット

- ◎みなとオアシスSea級グルメ全国大会の誘致・開催による地元のPR
- ◎ベイエリア内の各施設間の連携強化

みなとオアシスのイメージ

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を、国土交通省港湾局が登録するもので、「みなとオアシスNAGASAKI」は全国118箇所目の登録となります。

みなとオアシスは、交流・休憩、情報提供、災害支援、物販、飲食等を提供するため、以下のような施設から構成されておりますが、規模や構成施設は、各みなとオアシスによって異なります。



図：みなとオアシスの施設の例

長崎港のベイエリアにおいては、水辺の森公園などで様々なイベントが開催され、多くの観光客で賑わっていますが、限定的なエリアでの賑わいとなっていることから、港全体での賑わいを創出し、交流人口の拡大による地域の活性化につなげていく必要があります。

この課題解決に向け、県、市、経済団体が連携し取り組んだ結果、7月28日に、港を核とした地域振興が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局が認定する「みなとオアシス」に登録されました。

この登録により、県有施設や民間の商業施設など賑わいの拠点となる施設が連携を図り、エリア全体でのイベントの開催などにより地域の活性化が期待されます。

みなとまち長崎において、港の活性化から地域の活性化につなげていきます。

特集
2

長崎港ベイエリアの活性化
〜みなとオアシスの登録〜



この
ロゴが
目印!



第30回長崎県 まちづくりの絵コンクール

- テーマ：「みんなですみたいりそうのまち」
～みんなですんでみたい「りそうのまち」
を自由に描いてみよう!～
- 応募資格：県内在住の小学生
- 応募期限：平成30年9月7日(金)

※詳しくは県都市政策課のホームページをご覧ください。

長崎県 まちづくりの絵

検索

■問い合わせ先：長崎県土木部都市政策課
TEL095-894-3033



「ながさき建設技術フェア2018」開催します!

建設技術・製品等を紹介するとともに、活発な意見交換の場を提供することを目的とした「ながさき建設技術フェア」を本年も開催いたします。

15回目となる今回のフェアは、技術・製品の展示ブース、講演会や発表会など例年の内容に加え、ご来場の皆様に参加できるような各種イベントも実施する予定としております。皆様のお越しをお待ちしております。

◎と き：平成30年11月1日(木) 13:00～17:30
2日(金) 10:00～15:00

◎ところ：長崎県立総合体育館メインアリーナ〈アリーナかぶとがに〉
(長崎市油木町7番1号 TEL:095-843-6521)

◎入場料：無料

イベント情報 講演会、技術発表会、ドローン体験、クレーン車体験 など

フェア2017の様子



来場状況



講習会



クレーン車体験

問い合わせ：(公財)長崎県建設技術研究センター企画研修課

☎0957-54-1649 <http://www.nerc.or.jp/>

NERC

検索

県内の土木・建築に関する情報を発信しています! <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/ichimannin/top.html>

「1万人、土木・建築体験プロジェクト」ホームページ

1万人 土木

検索

県内の土木・建築に関するイベント情報を発信しています。

facebookページ『よかばい!長崎の土木』

よかばい 土木

検索



「DOVOC通信ながさき」では、読者の皆様からのご質問・ご感想をお待ちしています。

宛先◎〒850-8570 長崎県土木部建設企画課 ☎095-894-3021 FAX095-894-3461 ✉s08080@pref.nagasaki.lg.jp